

# 専門部会を検討

**奈良市会改革 幹事長会で設置案**

## 各会派、対応協議へ

奈良市議会（北良晃議長、39人）は、あす29日に12月定例会の開会を控え、改選後初となる議会制度の改革に向けた機関の設置を検討していることが分かった。平成25年4月1日施行の同市議会基本条例は「時代の要請にあつた議会改革に継続的に取り組む」としているが、機関設置とともに、改革の在り方について今後、議会各派で意見調整が図らねばならぬ」との方針を示された。

今月22日に開かれた「会」（土田敏朗幹事長、7人）が共同で「議会制度検討特別委員会」が議会基本条例制定や市議会議員の政治倫理条例の全文改正を実施。25年6月には「議会改革推進協議会」や「作業部会」が設けられ、基本条例の逐条解説では、維新の三橋和

月14日に開かれる幹事長会で、設置するかどうかを含め調整が図られる」となった。同市議会では、これまで自発的な議会改革の取り組みで、議員の定数削減などが行われており、最近では平成23年6月設立の「議会制度検討特別委員会」が議会基本条例制定や市議会議員の政治倫理条例の全文改正を実施。25年6月には「議会改革推進協議会」や「作業部会」が設けられ、基本条例の逐条解説では、維新の三橋和

月14日に開かれる幹事長会で、設置を幹事長と主張。これに対し改革の横井雄一氏らが「（設置について）幹事長会で話し合いつゝいだ」と話す。同党の宮池裕司幹事長（6人）からは「議会改革はもちらん必要だが、議会運営委員会（議運）でも協議できるのではないか」となると思う」となる。この声も聞かれ、各派とも具体的対応はこれからになりそうだ。

一方、日本維新の会（大西淳文幹事長、3人）は「身を切る改革」として、議員定数削減の取り組みを示唆した。幹事長は「質問時間の問題とか全般的に取り組みたい」。また森岡公明党幹事長は「例えばわが党はこれまで政務活動費のインターネット公開などを提唱しており、それぞれの会派から意見を聞いてテーマ設定していくことになるとと思う」などと話す。同党の宮池裕司幹事長（6人）からは「議会改革といふことは、手順を踏み合意形成を図る考え方を示す」とし、手順を踏み合意形成を図る考え方を示す。

史氏が「議会改革といふ」と語る。「議会改革の方向性について、土田・自民党（大西淳文幹事長、3人）は「身を切る改革」として、議員定数削減の取り組みを示唆した。幹事長は「質問時間の問題とか全般的に取り組みたい」。また森岡公明党幹事長は「例えばわが党はこれまで政務活動費のインターネット公開などを提唱しており、それぞれの会派から意見を聞いてテーマ設定していくことになるとと思う」などと話す。同党の宮池裕司幹事長（6人）からは「議会改革といふことは、手順を踏み合意形成を図る考え方を示す」とし、手順を踏み合意形成を図る考え方を示す。

ただ、現時点で両会派からは具体的な「改革の在り方について今後、議会各派で意見調整が図らねばならぬ」との方針を示された。文書によると、部会が設置されれば「時代の